

【抄 録】

『 咬合に強くなる
～シークエンシャルオクルージョンの基礎と実習～ 』

日技認定講師

株式会社前川デンタルラボ 前川 泰一

(京都府歯科技工士会)

私達歯科技工の役目は個々の患者の生態に調和した違和感の少ない補綴装置を製作する事である。

当然の事ながら色調、形態が患者の理想に合ったものを作るのはそのうちの 1 つで、患者の満足度を上げる一番の要因では無いかと考える。

多くの技工士がそのために勉強し経験を積んでいる。では、機能的な面はどうであろう。

前歯であれば舌側、臼歯であれば咬合面の形態をそれほど考えたことはないのではないか。人が健康に生きて行く上で一番大事なことは食事である。

よく噛める違和感の無い歯とはどういうものなのか。それを学ぶのが「咬合学」である。中でもシークエンシャルオクルージョンの概念は、何年も前から咬合を可視化しデジタル機器を駆使して咬合治療を行なってきた。そのコンセプトも時代と共に進化発展し更なるデジタル化が進んでいる。その理論の基礎を学び、これから技工士人生を送る上で知識の 1 つになればと考えて講演させていただきます。